

資格検定室NEWS

将来の自分の立ち位置を見据えるためのNEWS LETTER



脱炭素社会

国際気象変動枠組条約第25回締約国際会議(COP25)における小泉環境大臣のステートメント(www.env.go.jp/earth/cop25.html)において

「若者の、サステナブルへの思いに私は共感している。そして、年長世代の気候変動への態度に怒りを感じている若者がいることもわかっている。」

「国際社会から、石炭政策を含め、厳しい批判があることも承知している。グレーテス国連事務総長は『石炭中毒』をやめよと呼びかけた。こらは、日本に向けたメッセージと私は受け止めている。」と表明した。

石炭を燃やす火力発電がCO₂の排出により、環境悪化を招くことは十分に知られている。日本は、海外に向けては高効率火力発電所を「途上国支援」として輸出し続けている。国内では「電力の安定供給の重要性から、今後も石炭火力を活用していく必要がある。」(電気連合会 野哲会長)と述べている。

皆さんは、身近な事に目を向けて取り組む姿勢を意識しているだろうか。自動車やエアコンの快適さに慣れ親しんでいる現代、これを止めてしまうのは、現実的でない。「持続可能な発展」を維持するために何をなすべきか。もっと自転車を活用したり、ベランダに植栽を設けたり、日光を取り入れる工夫をしたりなど、あなたができることは何かを考えて欲しい。

地球規模の環境を考えることは、まさに「身近な問題」の取り組むことである。